

地域のチカラで広がる活動事例集 Vol. 1

多くの町内会・自治会においても、担い手不足や高齢化、加入率や住民参画の減少など、共通する地域課題に直面しています。本会では、これらの課題解決に向けてセミナー等を開催し、その概要はニュースレターにまとめ、全町内会長・自治会長にお知らせしてきました。この度、さらに課題解決のヒントにつなげていくため、市内の町内会・自治会から特色ある活動や、工夫・改善を行った実践的な取組事例を募集し、事例集としてまとめました。今後の活動の参考としてご活用ください。

(1) デジタル化（アプリ等）の導入

① 課題 回覧板が回るのが遅い

① 取組例

- LINE公式アカウントを開設し、回覧資料を共有することで迅速に情報を届けています。メニュー画面の「お知らせ」を選択すると、町内会からの連絡事項が確認できます。また、ごみの収集日や防災情報などをすぐに関覧できるように市ホームページとリンクさせるなどの工夫をしました。回覧板よりも早くに情報を取得できると好評です。
- LINEオープンチャットでの回覧を開始（紙回覧も併用）。町内会の情報を迅速に届けることができています。災害時やイベントの中止など、緊急の連絡が必要な時にも便利です。

② 課題 回覧で参加希望者を募っても集まらない

② 取組例

申し込みフォームを作成し、スマホからいつでも申し込めるようにしたところ、一定数の申し込みがありました。時間や人目を気にせず、どこからでも手軽に申し込むことができるため好評です。特に忙しい方や外出中の方には、利便性が大きく向上したと感じてもらえたようです。



③ 課題 役員会の会議時間が長い

③ 取組例

- 役員のLINEグループを作成し、役員会で配布予定の資料や回覧資料を事前に共有していたことで会議が早く終わり、業務の効率化につながっています。
- 役員のLINEグループで会議資料を事前に共有したところ、いつもなら2時間かかる会議が1時間で終わることができました。また、あらかじめ資料を読んで出席してくれるので、いつもより意見が飛び交う、活気のある話し合いができています。

④ 課題 紙資料が多くわかりづらい

④ 取組例

- Google Driveを利用したホームページを開設しました。町内会関連のデータをクラウドで保存したことで、役員間の情報共有と一元化が進み、連絡や引継ぎが容易になりました。
- 年間行事、総会議事録、回覧物などを掲載し、活動が見える化しました。
 - 公会堂やグラウンドの施設予約をホームページから行えるようにしたことで、利用促進につながっています。
 - 自主防災活動計画やハザードマップ、避難場所、河川監視カメラなどの防災情報を公開し、防災意識の向上に役立っています。
 - 掲示板として情報発信でき、会員からの意見を受け付けるツールにもなっています。

(2) 多様な人材（女性役員等）の登用

◎ 課題 女性役員、若い世代の役員が少ない

◎ 取組例

令和7年度に女性3名を新たに役員に登用し、多様な視点や意見を取り入れることができました。この取り組みによって、町内会活動に新たなアイデアが加わり、より柔軟でバランスの取れた運営が実現しています。友人や知人同士で誘い合って参加してもらう方法が、効果的であると実感しました。

◎ 取組例

町内会活動の仕分けを行うとともに、行事や研修への参加については、『私的に優先すべきことがあれば断ってもよい』、『できるときにできることをする』という柔軟な考え方を浸透させ、参加のハードルを下げる雰囲気づくりに取り組みました。その結果、役員の負担感が軽減され、女性からも積極的に役員に名乗りを上げてくれるようになり、町内会の運営に多様な視点を取り入れることができました。



(3) 活動の見える化

◎ 課題 担い手不足、参加者の減少・固定化

◎ 取組例

- ・ 町内会の活動写真を回覧し、活動の見える化を行いました。これにより、実際の活動や役員を取組を住民に伝えることができ、町内の魅力を知ってもらうとともに、活動への関心や参加意欲の向上につながっています。
- ・ 活動写真を多く取り入れた町内会ニュースを作成し、年に1～2回住民に配布しています。これにより、活動の進捗や成果をわかりやすく伝え、活動の見える化と住民同士のつながりの強化につながっています。

◎ 取組例

- ・ 回覧資料や活動の進捗、行事の写真などをリアルタイムで共有し、活動の見える化を進めています。町内会活動をより身近に感じてもらえるよう、町内会のLINE公式アカウントを開設し、住民に町内会活動の意義や役割も発信しています。会員同士のつながりを大切にしながら、楽しく役割を分担していきたいです。
- ・ ごみステーションの管理には、予算を出すだけでなく、実際に現地に赴いてネットの修理や改修工事に携わっています。これにより、町内会活動を住民にわかりやすく示し、町内会の存在を伝えるようにしています。

(4) 町内会行事・会議の開催見直し

◎ 課題 役員の高齢化が進み負担が大きい
参加者の減少・固定化

◎ 取組例

会議の実施回数を減らすとともに、住民のニーズを踏まえて行事の精査を行いました。その結果、役員になることへのハードルが下がり、参加しやすい環境が整い、役員の負担が大幅に軽減されました。

(5) 組織運営のスリム化（役員等の見直し）

◎ 課題 役員の手不足

◎ 取組例

町内会執行役員を14名から12名に削減し、これまで別途設けていた委員は執行役員が兼務しました。また、隣保の統合を進め、39隣保から33隣保へ組織を見直しました。これにより、町内会の運営体制の効率化と持続的な活動につながる体制づくりができました。